

2018年3月期 7月度 月次売上概況(速報)についてのお知らせ

土日祝日数	前年比(日)	+2	±0	-1	±0	±0	±0	±0	-1	±0	-1	±0	+1	+1	-1	-1	±0	-2	+2	-1	±0
国内売上高(全業態)	16年7月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
全店	額(百万円)	23,054	22,250	20,597	17,853	21,470								82,168	60,699						
	前年比(%)	2.8	5.1	9.8	0.0	-6.9								1.6	5.1						
既存店	前年比(%)	1.4	5.8	10.4	0.4	-6.4								2.2	5.6						
国内客数(全業態)	16年7月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
全店	人数(千人)	3,080	3,176	2,942	2,544	2,883								11,545	8,662						
	前年比(%)	1.4	1.5	0.2	-2.1	-6.5								-1.7	0.0						
既存店	前年比(%)	0.2	2.5	1.2	-1.2	-5.5								-0.7	0.9						
客単価(全業態)	16年7月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	
既存店	前年比(%)	1.1	3.2	9.1	1.5	-1.1								2.9	4.6						

国内 商品別売上高 既存店前年比(%)	16年7月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
カー用品物販	1.3	4.5	11.6	-1.6	-8.0									1.2	5.0					
主な商品群	タイヤ	-2.2	10.9	41.7	-5.6	-10.7								9.0	16.3					
	カーエレクトロニクス	3.7	-4.8	-3.0	-7.5	-16.5								-9.0	-5.2					
	オイル	1.5	3.0	2.6	4.4	1.5								2.8	3.3					
	バッテリー	4.9	8.6	2.3	4.3	2.6								4.3	5.0					
	アクセサリ	3.6	4.2	0.2	1.7	-2.4								0.8	2.1					
サービス	4.3	9.9	12.3	6.9	2.6									7.8	9.7					
車検・整備	3.1	18.7	11.1	12.1	9.8									12.7	13.9					
車買取・販売	-1.5	4.6	-0.2	-0.9	-14.8									-3.6	1.1					
中古カー用品	-24.8	-10.9	-20.2	-17.1	-3.7									-13.1	-15.8					
燃料	-10.1	20.1	9.2	4.5	2.4									8.6	11.1					

海外店舗売上高 前年比(全店)(%)	16年7月	17年4月	17年5月	17年6月	17年7月	17年8月	17年9月	17年10月	17年11月	17年12月	18年1月	18年2月	18年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期
	-6.1	-2.1	2.5	1.4	0.5									1.0	1.2					

店舗数(国内)	オートバックス		-2											493	-2					
	スーパーオートバックス													74						
	オートバックスセコハン市場													9						
	オートバックスエクスプレス													11						
	オートバックスカーズ					+1								13						

2017年7月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概況】前年同月売上は既存店ベースで▲6.4%、全店ベースで▲6.9%

売上増減要素:①主力商品群であるタイヤ・ホイール、カーエレクトロニクスの低調が、カー用品全体の売上減少に影響。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数増加を背景に、店舗での取り組み強化により好調を維持。③車買取・販売は買取査定強化により買取台数が増加したものの、小売が低調で前年割れ。

【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは値上げにより販売単価が上昇したものの、値上げ前の駆け込み需要の反動もあり、数量・金額ともに前年割れ。また、ホイールはタイヤの売上減少に伴い、軽自動車やコンパクトカー用を中心に売上減少。

カーエレクトロニクス:販売促進を強化したものの、各メーカー新商品の発売時期が変更になったことも影響し、ナビゲーションが数量・金額ともに前年割れ。また、ナビゲーションが低調だったことに伴い、同時販売を強化している後部座席用モニターやETCなども前年割れ。

オイル:数量は前年割れだったものの、クリーンディーゼル車用オイルなどが好調で、金額では前年を上回った。バッテリー:数量は前年割れだったものの、アイドリングストップ車用バッテリーなどが好調で、金額では前年を上回った。

メンテナンス:エアコンフィルターやルーフボックスなどが好調で、前年並みを維持。カーリペア:不安定な天候が影響し、シャンプーやワックスなどの洗車用品が低調。

サービス:タイヤ交換工賃やカーエレクトロニクス取付工賃が前年割れだった一方で、車検・整備や板金・塗装などが好調で、サービス全体では前年を上回った。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+7.4%、金額前年比+8.8%。

車買取・販売:業販は、買取専門店による買取件数増加が寄与し、台数では前年を上回ったものの、単価が低下したことにより金額は前年割れ。小売は新車・中古車ともに前年を下回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比▲1.3%、金額前年比▲10.2%。

出店、退店状況 7月度 国内:新店1、退店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店0、海外:新店0、リロケーション0、退店0

7月末 国内店舗数: 600店舗(オートバックス493、スーパーオートバックス 74、オートバックスセコハン市場 9、オートバックスエクスプレス 11、オートバックスカーズ13) 海外店舗数: 38店舗

・こちらのデータはフランチャイズ加盟法人の運営する店舗を含むオートバックスグループの小売売上であり、当社連結および単独の売上高とは異なり、会計監査人による監査は受けておりません。

・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合もございます。

・「全業態」は、オートバックス、スーパーオートバックス、オートバックスセコハン市場、オートバックスエクスプレス、オートバックスカーズです。 ・オートバックスの店舗数には、Smart+1茨木西店、オートバックスガレージ府中を含んでおります。

・土日祝日数について、年末年始(12月29日~1月3日)は土日祝日数としてカウントしています。

<p>2017年4月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月上は既存店ベースで+5.8%、全店ベースで+5.1%</p> <p>売上増減要素:①タイヤの履き替え需要が増加したことや車検・整備の好調に伴い、買上げ客数が増加し、全般的な売上増に貢献。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数の増加に加え、店舗での取り組み強化が進み二桁伸長。③車買取・販売は買取成約台数の増加に伴う業販の好調に加え、新車販売も好調で、台数・金額ともに前年を上回った。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは北海道など一部のエリアを除き履き替え需要が増加したことにより、数量・金額ともに二桁伸長。また、タイヤの好調に伴い、ホイールは軽自動車用サイズの商品を中心に好調に推移 カーエレクトロニクス:後半より販売促進企画を実施したものの、ナビゲーションは数量・金額ともに前年割れ。一方で、後部座席用モニターやETC2.0は好調を維持。 バッテリー:アイドリングストップ車用バッテリーが好調に推移し、数量・金額ともに前年実績を上回った。 メンテナンス:降水量が多かったことや車検時の付帯販売強化によりワイパーが好調。また、タイヤ交換の際に使用するジャッキなどの工具類も好調。 アクセサリ:品揃えの見直しも奏功し、フロアマットやクッションなどが好調。 カーリペア:「洗車の日」に向けた売場作りを行ったこともあり、シャンプーやブラシなどの洗車関連商品やガラス撥水剤などが好調。 サービス:タイヤの履き替え需要増加に伴い、タイヤ交換工賃が伸長。加えて車内消臭など物販を伴わないサービスメニューや、ブレーキオイル交換など車検に付帯するサービスメニューも好調に推移。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+20.8%、金額前年比+17.6%。 車買取・販売:店舗での買取査定強化により買取成約台数が増加し、オートオークションなどへの業販が好調。小売においては、中古車販売は前年実績を下回ったものの、新車販売が好調。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+12.3%、金額前年比+7.4%。</p>
--

<p>2017年5月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月上は既存店ベースで+10.4%、全店ベースで+9.8%</p> <p>売上増減要素:①土日祝日日数、前年比で1日減。②6月からの値上げに伴う駆け込み需要によりタイヤの売上が大幅に増加し、全体の売上が牽引。③車検・整備は2回目以降の車検対象台数増加に加え、店舗での取り組み強化が進み、二桁伸長を継続。④車買取・販売は買取査定における成約率向上に伴う業販の伸長に加え、新車販売が好調で売上増加。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:値上げ前の駆け込み需要に伴い、タイヤは数量・金額ともに前年比+40%以上の大幅伸長。また、タイヤの好調に伴い、軽自動車用・コンパクトカー用サイズを中心にホイールも好調。 カーエレクトロニクス:全体では前年割れだったものの、GW期間中の販売促進企画が奏功し、大画面タイプを中心にAV一体型ナビゲーションが好調。また、ナビゲーションとの付帯販売を強化している車載モニターも好調に推移。 オイル:客数や車検の増加に伴い好調で、前年実績を上回った。 バッテリー:数量は前年割れだったものの、高単価なアイドリングストップ車用バッテリーが好調で、金額では前年比プラス。 メンテナンス:車検時の付帯販売強化によりワイパーが好調。 カーリペア:店舗での売場展開の強化に加え、比較的晴天に恵まれたこともあり、シャンプーやワックスなどの洗車用品が好調に推移。 サービス:タイヤの売上増加に伴い、タイヤ交換工賃が大幅伸長。加えてタイヤ交換時に付帯販売を強化している足回りコーティングも好調。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+10.7%、金額前年比+10.2%。 車買取・販売:業販は、店舗での買取査定の強化が進んだことに伴い買取台数が増加し、前年実績を上回った。小売においては、中古車が前年割れだったものの、新車販売が好調。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+12.7%、金額前年比+4.2%。</p>

<p>2017年6月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)</p> <p>【概況】前年同月上は既存店ベースで+0.1%、全店ベースで▲0.3%</p> <p>売上増減要素:①6月からの値上げに伴う駆け込み需要の反動でタイヤの売上が減少したものの、その他商品は堅調。②車検・整備は2回目以降の車検対象台数増加を背景に、店舗での取り組み強化が奏功し、二桁伸長を継続。③車買取・販売は買取における成約率向上により業販が伸長し、小売は新車販売が好調で売上増加。</p> <p>【商品別】タイヤ・ホイール:タイヤは前月の値上げ前の駆け込み需要の反動も影響し前年割れ。しかしながら値上げに伴い販売単価は向上。また、タイヤの販売数量減少に伴い、特に軽自動車用およびコンパクトカー用サイズが低調で売上減少。 カーエレクトロニクス:月度後半より販売施策を強化したものの、AV一体型ナビゲーションが低調。一方で、ナビゲーションとの付帯販売を強化している車載モニターやETC2.0が好調に推移。 オイル:数量はほぼ前年並みだったものの、走行距離の長い車両向けのオイルが好調で、金額では前年を上回った。 バッテリー:数量は前年割れだったものの、アイドリングストップ車用バッテリーが好調で単価が向上。金額では前年実績を上回った。 メンテナンス:エアコンフィルターやルーフキャリアなどが好調で前年比プラス。 アクセサリ:ロングドライブ関連商品や快適・便利グッズなどが好調。 カーリペア:店舗での売場展開の強化により、シャンプーやワックス、スポンジなどの洗車用品が好調に推移。 サービス:タイヤの売上減少に伴い、交換工賃が前年割れだったものの、物販を伴わない板金・塗装やボディコートなどは好調に推移。車検・整備は、全店ベースで台数前年比+9.3%、金額前年比+11.1%。 車買取・販売:店舗での買取査定における成約率の向上に伴い業販が好調。小売は、中古車が前年割れだったものの、新車販売が好調で前年実績を上回った。業販と小売を合わせた全体では、全店ベースで台数前年比+15.7%、金額前年比+2.1%。</p>
--